

リハビリテーション科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	Body lateropulsion に対する効果的なリハビリテーションプログラム開発を目的とした症状遷延要因の探索
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	リハビリテーション科、リハビリテーション部
研究責任者	副技師長 理学療法士 河尻博幸
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	脳梗塞を延髄外側部に生じた場合、立ったり歩いたりする際に、体が横に倒れてしまう Body lateropulsion (側方突進現象) という症状が出現することがあります。本研究は、この Body lateropulsion の発生率、回復に時間がかかった患者さんの割合、その特徴を明らかにして、効果的な理学療法プログラムの開発に役立てることを目的としています。
対象となる患者さん	2015年4月以降にリハビリテーションを受けた延髄外側梗塞の患者さん
研究の方法	診療録に記録されている情報を収集します。 研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡お願い申し上げます。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2027年3月31日
研究に用いる試料・情報	入院時、入院14日目の Body lateropulsion の有無、年齢、画像所見、身体機能など
外部への試料・情報の提供	【なし】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者：理学療法士 田中拓哉 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900)